



湿原散歩

台風19号は本州の河川を中心に甚大な被害を与えながら、北海道東部の海上を通過していった。強風に木の葉が飛ばされ、窓を叩くように降っていた雨は夕方には止み、丘陵地の上には月が輝いていた。10日に越冬のため飛来したオオハクチョウも何処で羽を休めているのだろうか、後続の群れも同様に無事嵐を回避しながら、釧路湿原へ向かっていることと思う。夕闇の中に星が次々と輝く頃には、気温も下がり始め、翌日の早朝は最低気温が氷点下3度となり、白い息の下、霜の衣をまとった落ち葉がキラキラと輝いていた。



塘路フィールドノート【9/15~10/14】

【野鳥】

9月の中旬に飛来したヒシクイを皮切りに、塘路湖やシラルトロ湖では徐々に渡り鳥たちの姿が増えてきています。そして先日、シラルトロ湖にオオハクチョウの第一陣が飛来しました。いよいよ渡り鳥たちの最盛期が到来です。



(オオ) ヒシクイ (シラルトロ湖)
ヒシを食うヒシクイの姿は秋の風物詩。湖上でV字型の群れが飛んでいく姿も圧巻です



カルガモ (シラルトロ湖)
国道が通る東側水域にいた小群。他のカモたちと離れて行動していることが多いです



コガモ (シラルトロ湖)
カモの中では比較的早い時期に飛来。この時期は雌雄、幼鳥の見分けが難しいです



エゾビタキ (塘路湖畔)
コサメビタキと思いきや、よく見るとエゾビタキ。水鳥たちと同じく秋を告げる鳥です



セグセキレイ (左) とウセキレイ (塘路湖畔)
例年秋に姿を現すセグロセキレイ。ハクセキレイの群れに紛れていることもあります



アオジ♀ (塘路湖畔)
夏鳥の大半が姿を消す中、アオジはマイペース。例年10月の中旬頃まで留まります

◎ドングリとゴジュウカラ

今年ドングリが豊作の塘路湖畔。湖畔を歩いていると、茶色く熟したドングリがそこかしこにたくさん落ちていることに気がきます。

そのドングリを狙ってミズナラの木の下をウロチョロしているのが、ゴジュウカラ。湖畔を歩いていると、お気に入りのドングリを探して地面を歩き回るゴジュウカラにたびたび遭遇します。ドングリはゴジュウカラの大好物で、木のくぼみにドングリを置いてつついて食べたり、隙間に隠して貯食したりすることもあります。



ミズナラの幹で地面から拾ってきたドングリをつつくゴジュウカラ

【植物】

秋の色と言えばやはり赤。日に日に色鮮やかさを増す木々の葉と、瑞々しい果実の赤色が秋の風景を彩ります。実りの季節は今が最盛期。紅葉はもうすぐピークを迎える塘路湖畔。今回は秋らしい赤の色彩を集めてみました。



ヤマブドウ (シラルトロ湖畔)
紅葉シーズンの幕開けを告げる樹木。今年も他の樹木に先駆けて真っ赤に色付きました



エゾヤマザクラ (塘路湖畔)
ちょうどいい感じに色付いてきたところ。先日台風も何とか持ちこたえてくれました



ナナカマド (フィトンチッドの森)
少しピークを過ぎた感じですが、まだまだきれいな葉。果実もまだ多く残っています



ニシキギ (塘路湖畔)
センター前の木に生っている鮮やかな赤色の実。葉も徐々に赤く色付いてきています



マユミ (シラルトロ湖畔)
今年も吊り下げ型の赤い実をたくさんつけました。野鳥もこの実を食べによく訪れます



コウライテンナンショウ (塘路湖畔)
何となく不気味な雰囲気か漂う赤い実。個体数は多くないものの、存在感は抜群です

【動物】

秋は動物たちの活動が活発になる季節。来るべき冬に備え、植物の果実などをたくさん食べて栄養を蓄えます。また、10月と言えば衣替えの季節。夏毛から暖かい冬毛へと衣替えした動物の姿もよく目にするようになりました。



エゾシカ (塘路湖畔)
冬毛が目立ってきたエゾシカたち。この季節、センター周辺でも度々姿を見かけます



キタキツネ (シラルトロ湖畔)
蝶の森の出口でお出迎え。あまり警戒心がない様子だったのが少し気になりました



エゾリス (塘路湖畔)
手には大好物のオニグルミの実。カリッカリと音を立てて夢中で頬張っていました

○トンボが少ない秋

例年であれば、赤トンボの仲間やヤンマ類が飛び交う塘路湖畔の秋ですが、今年はほとんどその姿を見かけません。特に例年秋が深まる頃まで見られるアキアカネが本当に少なく、その他の赤トンボの仲間にもなかなか出会えません。9月の下旬頃、ルリボシヤンマが一時期元気に飛び回っていたものの、10月に入ってからはそのルリボシヤンマもあまり見られなくなってしまいました。

トンボは秋の塘路湖畔の風景に欠かせないピース。そのトンボが少なく何か物足りない気がしてしまう今年の秋です。



ルリボシヤンマ

【開館時間変更のお知らせ】

11月1日(金)よりセンターの開館時間が下記のとおり変更となります。

○10:00～17:00 → **10:00～16:00** (令和2年3月31日まで)

11月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

バードカービング講座 第三回目

[日 時] 11月10日(日) 11時～15時

[定 員・参加料] 第一回の参加者の方

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

クリスマスリースを作ろう

[日 時] 11月23日(祝) 13時～15時

[定 員・参加料] 10名 500円(材料費)

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

初冬の植物を見に行こう

[日 時] 11月17日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンター(0154-65-2323)まで

クリスマスリースを作ろう

[日 時] 11月24日(日) 13時～15時

[定 員・参加料] 15名 500円(材料費)

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで

◆日出・日入時間 9/15(5:00,17:34). 9/30(5:17,17:07). 10/14(5:33,16:43)

～編集後記～

■日没も早くなり、帰宅する頃には車のヘッドライトを点けるようになりました。この時期はエゾシカが道路を横断することがあり、先日ライトの破片とともに、無残な死骸が横たわっている現場を目にしました。冬毛となったエゾシカは夕方から夜間にかけて確認しづらく、群れでも移動していますので、スピードの出し過ぎや車間距離に注意しながら、安全運転を心掛けてください。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

Instagram  torokoemc

開館時間: 10:00～17:00

(11～3月: 16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料